

# The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット  
「職業を通じて広げる絆」  
"Expanding Relations  
Through Business"  
2018-2019年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
本多 信雄



国際ロータリーテーマ 2019年6月26日【第1144回】  
「インスピレーションになろう」  
"BE THE INSPIRATION"  
2018-2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン  
創 立 : 1994年8月8日  
会 長 : 本 多 信 雄  
副 会 長 : 佐 藤 正 樹  
幹 事 : 佐 藤 大 輔  
会報委員長 : 井 上 晴 貴

6月26日の卓話	6月19日の出席率	7月3日の卓話
<p>今年度最終夜間例会 「三役退任挨拶」 会 長 本多信雄様 副会長 佐藤正樹様 幹 事 佐藤大輔様</p>	<p>会員在籍者数 38名 会員出席者数 25名 会員欠席者数 13名 本日の出席率 69.44% 前々回訂正出席率 68.57%</p>	<p>新旧役員引継式 「三役就任挨拶」 会 長 佐藤正樹様 副会長 高橋映治様 幹 事 杉浦孝浩様</p>

## 《第1143回例会報告 2019年6月19日》

司会：坂本康朋会員

- 点鐘：本多会長
- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」  
：ソングリーダー 榎本会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」  
東京臨海RCVer. 唱和：佐藤正樹副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：本多会長  
ゲストスピーカー 合田秀雄様
- ビジター紹介：榎本会員：山口幸一様（東京城東RC）



### ■ 会長報告：本多会長

- ・ 入会式：立花 純様
- ① 職業分類：総合保険代理店業
- ② 推薦者：斉藤実会員、高橋映治会員
- ③ カウンセラー：鈴木孝行会員
- ④ 所属委員会：会場監督委員会

これからは心も改め、皆様のお役に立てるように頑張ります。宜しくお願いいたします。

- ・ 一般財団法人比国育英会バギオ基金より、第61回感謝状が斉藤実会員に届いておりますので贈呈致します。



### ■ 幹事報告：佐藤大輔幹事

- ・ 次週6月26日（水）は、今年度最終例会です。例会時間は18:00~19:30、会場は東武ホテルレバント東京です。二次会会場へは、例会終了後、送迎バスで移動致します。夜間例会ですので、出席頂ける方は、「出席」の連絡をしてからご出席をお願いします。また、出欠の変更がある場合は、事前にご連絡頂けると有難いです。
- 委員会報告：斉藤実ガバナー補佐
- ・ 大澤会員のお祝いのパーティーをしたいと思います。東武ホテルレバント東京の6階です。クラブ内で行います。7/11を宜しくお願いいたします。

## ■出席状況報告：勝間田会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

## ■ニコニコBOX報告：井上会員

(ご意向) ㈱エス・プランナー取締役 合田秀雄様、本日の卓話を楽しみにしております。：本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、須藤会員、斉藤会員、村社会員、井上会員、坂本康朋会員、入澤会員、田村会員、高橋会員、酒井会員、佐久間裕章会員、山田会員、杉浦会員、尾身会員、白幡会員、笹本会員、地引会員

(ご意向) 体調悪く、先日の家庭集会欠席して申し訳ございませんでした。：中村会員

(ご意向) 先日は、素敵なお花を妻に頂きありがとうございました。：勝間田会員

祝 2,000,000円 本年度も達成!!! 感謝

【21件 52,000円 累計2,041,241円】

## ■卓話 (紹介者：酒井会員)

「アメリカのスポーツビジネスについて第2弾」

(株)エス・プランナー 取締役 合田 秀雄様

(ロサンゼルス在住)

・アメリカに40年います。60歳になりますので、2/3はアメリカにおります。大リーグで有名な日本人の選手を担当していました。ルーティーンが有名な選手で、食べ物も同じもの。生活も同じスタイル。一切崩しません。時間をすごく大切に使う人でした。一見わがままに見えますが、ルーティーンを崩すことはありません。様々なこだわりを持っていました。様々な生活スタイルを合わせて頂くように手配をします。レストランの深夜予約などもそうです。練習するために野球場の手配なども行いました。私のコネクションは凄いものでした。おかげさまで体調も壊しましたが、一生懸命に彼を支えてきました。

・彼は様々なチームのオファーがありましたが、引退先までを考えてチームを選んでいました。大記録も有名チームで作ることを皆は考えますが、彼は違いました。高い年俸でも将来性を考えて選んでいました。

・一番バッターであり、初球から狙っていきます。しかし先発ピッチャーは一流を揃えていますので、先発ピッチャーから打つのは大変です。彼は先発ピッチャーから打たなくても、セットアッパーからヒットを打てばよいのです。そういう考えやデータを駆使して仕事に望んでいました。彼に嫉妬する人は沢山いました。チームメイトも。それなので、チームメイトを接待することも私の仕事でした。またオロナイン軟膏も喜ばれるので、差し上げていました。

・アメリカの選手は道具に対する愛情がありません。平気でバットも折ります。また人のグローブをもって守ることも平気です。日本人と外国人とは違います。身体能力も違います。日本人は努力をしますが、外国の人はセンスでこなします。鍛える人はダメです。もって生まれた能力で勝負します。

・スポーツ選手で成功する人は、お金と女性で身を崩します。今ではその教育は徹底されており、教育しないとスポーツ業界が崩れてしまいます。球団から敏腕

のエージェントが支給され、金銭面や交渉までをこな



します。しっかりと選手が専念できるようにサポートします。様々なお金の亡者がやってきます。親戚なども増えます。

・アメリカは選手に可能性を与えます。日本では二軍の選手で可能性を持っていても、席が空かないとチャンスをもたらえません。アメリカが強い理由はそこにあります。リーグも強くなります。

・各チームは所属選手を愛しています。これからはeスポーツというゲームで稼ぐ人も出てきていますが、体を動かして楽しむものも大切にしていければいいかなと思います。

■点鐘：本多会長

## 2018-2019年度 三役退任挨拶

## 本多信雄 会長

皆様のおかげを持ちまして、1年間無事に会長を務めることが出来ました。本当にご協力、ご支援、ご指導ありがとうございました。

2年半前の年次総会で2018-2019年度の会長に指名を頂き、栗山年度で副会長をして、1年間会長の動きを見ることが出来ても勉強になりました。

副会長は、とても楽しく過ごさせて頂きましたのであつという間でしたが、会長時はもっと短く感じました。会長になる半年前からいろいろと準備が始まり、常に緊張感を持って、会の結束、楽しさ、充実感、達成感に気を配り準備をしてきました。

会の運営は、会社にとっても似ています。まず自クラブの分析から始め、自分のこだわりを文章にして、会員に周知し、実行に移し、検証することを心がけてき



ました。ある程度自分が思っていた通り出来た部分はありますが、やはりやりきることが出来なかった所もあります。全体の運営は、皆様のご協力の下合格点までいったのではないかと思います。会員増強と出席率向上に多少悔いがありました。

私自身がとても成長出来る機会を頂けた事に一番感謝しております。おかげ様で会社の業績も上向き、公私共にすばらしい1年間を過ごせました。

今後も皆様との友情を深め、私に会ってよかったですと思って頂けるように、ロータリー活動等をしていきたいと思っております。1年間誠にありがとうございました。

### 佐藤正樹 副会長

本年度、本多会長の下、会長エレクトとして副会長を務めさせて頂きました。本多会長とは十数年来のお付き合いで、様々な活動を通して交流してきましたが、今年度は更に深い関係性を築く一年となり、同時にロータリークラブに関わる多くのことを学ばせて頂ける機会となりました。



本年度は、自クラブ25周年及び地区研修協議会のホストクラブがありましたが、会員皆様のご尽力により、素晴らしい成果を挙げられたと感じております。本多会長の掲げる理念を皆様と共有し、計画しているすべての活動を完遂することで、自クラブの活性化の一助になれたかと感じております。

次年度は会長として、会員皆様、地域社会の皆様にご恩返しができるよう微力ながら尽力させて頂きます。

本年度も皆様には大変お世話になりました。関わって頂いたすべての皆様に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせて頂きます。

### 佐藤大輔 幹事

お蔭様をもちまして無事にこの日を迎えられたこと、本当にありがとうございます。皆様に支えられ、そして温かいご協力をいただき、1年間勤め上げることができました。

周年・子クラブ・地区協等、イベント盛り沢山の



1年間でしたが、沢山のことを学ぶことができました。知っているようで知らなかったこと、やっているようで出来ていなかったことに気付かされたと同時に、漠然としていたことが良く分かったり、納得したりということも沢山ありました。気が利かずに後手に回りオロオロしてばかりの幹事で、皆様にはなにかとご迷惑をおかけいたしました。この経験を今後の人生に生かし、将来皆様に恩返しのできるロータリアンになりたいと思っております。

ありがとうございました。

## 2018～2019年度 家庭集会

テーマ 「クラブを更に活性化するために

～自クラブこそ原点～

第3グループ 家庭集会 議事録 2019年6月18日



### ■尾身会員

会員の多くは会社を経営しており、その業界、経歴、規模など様々。その会員同士がお互いにビジネス上で協力し合い、若手が先輩たちの背中を追い続ける営みがあってこそクラブは活性化する。

### ■舛本会員

次年度国際奉仕委員長として、国際奉仕に関するイベントに全員で出席したい。出席することで、紙やお金を出すことでは気付けないことが沢山あり、その学びを全員で深めたい。それが活性化に繋がる。

### ■佐藤正樹副会長

会員増強とコミュニケーションの促進が重要なポイントである。親睦旅行、二次会、卓話で会員同士の情報共有を図り、充実したロータリーライフを作ることが活性化を生む。

### ■佐藤大輔幹事

東京臨海 RC は既に活性化が図れているのではないかし、そこに甘んじるのではなく、それぞれが担う役割を全うすることが更なる活性化に繋がる。

### ■小松会員

出席率の向上と会員増強が重要なポイントである。「四回出席しなければ会員資格失効」というルールを見て改めて出席の大切さを感じた。自ら率先して会員を誘っていきたい。

### ■井上会員

この度、会員を1名増やすことが出来た。しかし、

それがゴールではなく、その新会員をどうフォローするかが大切である。次年度親睦委員長ということもあるので、更に仲間を誘っていきたい。

#### ■入澤会員

執行部は会員に対して適した役割を与え、会員は与えられた役割をしっかりと担う。この営みが活性化に繋がる。その過程で若い世代から刺激を受け、クラブにいたることが楽しいと感じることが出来る。

#### ■齊藤会員

活性化は拡大会員増強に尽きる。会員一人一人が仲間を誘うこと。そうすることで責任感も芽生え、最終的には大きな事業（東京臨海西 RC を創るなど）を成し遂げることが出来る。我々はそんなクラブでありたい。

#### ■本多会長

商売人がお互いに協力・競争し合いながら社業を発展させる。それが我がクラブの魂であり、この「雑草魂」を発展させることが最大の活性化である。あとは「SMG」あるのみ！！

## ロータリーニュース



人びとが安全な水を持続的に利用できるようにするために、ロータリーが新たな方法で挑む

記事 Ryan Hyland

SHARE: [f](#) [t](#) [v](#)

### 人びとが安全な水を持続的に利用できるようにするために、ロータリーが新たな方法で挑む

安全な水、衛生施設や衛生リソースの不足は、世界で最も大きな保健問題の一つです。これはまた、解決が最も難しい問題でもあります。

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるように支援してきました。しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。

コンサルティング会社「Improve International」社が集めたデータによると、サハラ以南のアフリカだけでも、機能不全となった水道システムに関連する費用の累計額は、さまざまな団体を合わせて **12 億～15 億** ドルに上ると推定されています。

ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリアン行動グループ、米国国際開発庁 (USAID) とのパートナーシップによって、ロータリーの水と衛生プログラムである「WASH プログラム」は、より効果的で持続的な変化をもたらしています。

「ロータリーの水と衛生プロジェクトはどれも、思いやりと善意で実施されていますが、**その多くが地域社会の実際のニーズに答えていなかったのです**」と語るのは、「水と衛生のためのロータリアン行動グループ」の創設者で名誉会長の F. ロナルド・デンハムさんです。2007 年に結成された同グループは、ニーズと持続可能性を重視しています。

「私たちは力を尽くしていますが、援助を必要としています。成功には、外部に支援を求めることが不可欠です」 いずれ地域社会の人びとが**自力で継続していなければ、そのプロジェクトは成功したとは言えない**、とデンハムさんは話します。

計画段階における地下水の試験で高いレベルのフッ化物が計測されると、援助国のクラブは計画を変更し、浅い掘削孔を掘ることにしました。これまでの経験から、**雨水を貯水する方がより安全な方法だとわかった**からです。

実施国側のクラブ、ナクル・ロータリークラブ（ケニア）は現在、各家庭で 1 万リットルの貯水タンクを設置するための資材を提供し、その設置方法を教えています。その作業と管理を行うのは各家庭です。50 ドルの投資で、家族が乾季を乗り切るのに十分な水を貯めることが可能となります。

「貯水タンクは、母親だけでなく子供たちにも自由をもたらしました。今では、**子供たちは学校に行く時間の余裕ができました**」とデンハムさんは説明します。

衛生施設の設置だけでは、WASH プロジェクトの長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。**適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を 50 パーセント近く減らすことができます**。石鹸を使った手洗いで命を救うことができるのです。

水と衛生に関する教育のもう一つの成功例は、マレーシアのプチョン・センテナル・ロータリークラブがフィリピンのインターアクトクラブとローターアクトクラブと協力して、フィリピンのランパラの複数の学校で行った**教育指導**です。この活動では、数名のインストラクターを迎え、**口腔衛生、手洗い、頻繁に体を洗うことの大切さ**について生徒を指導しました。生徒には、歯ブラシ、シャンプー、石鹸、くし、その他の洗面用品が配られました。

## 編集後記

1 年間週報を担当してまいりました。井上晴貴でございます。新会員にもわかりやすいように、ロータリーの情報やニュース、用語なども盛りだくさん配信してまいりました。おかげさまでロータリー用語も様々な学習させていただきました。研鑽しあえる仲間たちと共に「東京臨海ロータリークラブ」の活性化に努めてまいります。ありがとうございました。